

～勇気ある決断～

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 竹ノ内賢一郎
◆編集責任者/担当 副会長 上田康文 ◆制作・編集 第42期広報委員会/委員長 石原 効

9月例会開催

平成28年9月15日(木)米子市福祉保健総合センターふれあいの里にて翔女委員会担当の9月例会が開催された。



冒頭、竹ノ内会長より、広島東洋カープがリーグ優勝したことを踏まえ「カープは資本も少なく中小企業の様な球団。人材育成が上手で、いち早くファン層の拡大に努めていったのが強くなった要因。我々中小企業経営者とオーバーラップする部分がある」と野球人らしい挨拶があった。

続いて委員長タイムでは、広報委員会の石原委員長より、電力小売り自由化や電気料金のメニューについての説明が行われた。

今回の例会は「イクボスと企業」というテーマで講師にNPO法人ファザーリング・ジャパン関西 理事長 篠田厚志氏をお招きした。



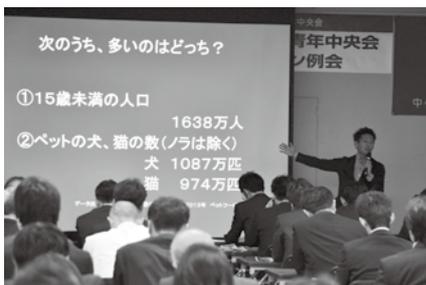
まず吉田委員長から「イクボスとは、職場で共に働く部下の生活の両立を考えながらも、組織の結果を出せる上司のことで

ある。翔女委員会では女性活躍社会の実現に向けて様々な問題点などを検証しており、イクボスという言葉を一人でも多く知って頂きたくセミオープン例会という形をとらせてもらった」と趣旨説明があった。

篠田理事長には「上司が変われば組織が変わる」という演題で講演をして頂いた。



「働き方の変革」という題では、「共働き世帯の増加により、男性の意識も変わってきて家事や育児に関わりたい男性が増加した。育児・介護・高齢・病気などの事情により労働条件に制約を持つ社員が潜在的に7割もいるという事実がある。だからこそ、労働人口の減少・社会的ニーズの変化・時間制約社員の増加などによりこれまでの前提が壊れていく社会で新しい生き方、働き方、家族の在り方などの変革が求められている」と話された。



「イクボスのリーダー像」という題では、「リーダー像は大きく分けると3つあり、部下のワークライフバランス・自身のワークライフバランス・組織業績の貢献である。ワークライフバランスをとるには、職場の課題解決だけを優先せず、各自の状況も考慮する。各自の情報だけでなく、互いの価値観も共有することで、会社にも個人にもメリットとなるケースが多い。次に組織業績の貢献は、上司が全体を把握し、業務細分化し、マネジメントすることである。そしてワクワクするために思考し続けること。これらがリーダーに求められるマネジメントである」と、まとめられ講演を締めくくられた。



最後に奥森副会長より、これからもイクボスを発信出来る様な活動をしていきたいと篠田理事長へ謝辞が贈られた。

(記事:渡邊公平)

9月例会を終えて

翔女委員会 委員長 吉田 通代

(米子ニューアーバンホテル レストラン運営管理者)



9月セミオープン例会では、中央会会員82名と、会員企業関係者様33名にご参加頂き、誠にありがとうございました。皆様のお力添えのもと、無事に開催出来ましたことを、心よりお礼申し上げます。当日、篠田厚志様のお話で、『イクボス』の必要性をご理解していただけたかなと思っております。また、「そんなこと分かっている、当たり前のこと」という意識から、自ら実践に移すきっかけにもなったのではないのでしょうか。会社の部下・後輩のライフワークを把握し、男性の育児参加を応援する上司・幹部・経営者がいる企業は、組織自体が変わっていくと私は確信しております。(まだまだではございますが...)女性の社会進出が増加傾向にある中で、既に人が会社を選ぶ時代だからこそ、「この会社辞めたくない!!」と思われるような企業が、この例会をきっかけに増えることを願っています。最後に、翔女委員会の皆さん。例会の準備からリハーサル、そして当日も長丁場お付き合いいただき本当にありがとうございます。まだ始まったばかりですが、これからも懲りずにお付き合い下さい。

!! 委員会訪問 !! ~総務委員会~

9月12日(月)米子市公会堂において開催された第3回総務委員会を訪問させていただきました。

まず高塚委員長より役員会報告があり、メンバー全員が耳を傾け、資料に目を通す姿は真剣そのもので、高塚委員長の細部にわたり行き届いた説明もあって、スムーズな役員会報告でした。続いて9月9日に行われた、鳥取県西部地区青年経済団体連絡協議会第1回委員会の内容について説明が行われ、メンバーからは質問・改善点等、活発な意見が出る濃い内容の委員

会が行われました。

開会前は和やかな雰囲気でしたが、いざ始まると「キリッ」とした雰囲気を感じる節度ある委員会でした。総務委員会の皆さんありがとうございました。

(記事・石原)



10月例会に向けて

政治ビジネス委員会 田中 猛委員長

(田中正夫建築設計事務所 米子事務所長)



「米子市中心市街地再考」~まちなかに賑わいを~
米子のまちは好きですか？私は広島で生まれ、米子で育ち、学生時代は京都でした。中でも米子は居心地が良く思い出もあり、大好きなまちです。

私が今期、米子市中心市街地を取り上げようと思ったのは、やよいがなくなると知った時です。これは加速度的に中心市街地が衰退していく前触れではないかと感じました。米子で経済活動をされている中央会の仲間とぜひ一緒に考えたいと強く思いました。

先だってアンケートを実施し、米子市の中心市街地について会員の皆様にも少し考えて頂きました。10月例会では3名のパネリストをお招きし、それぞれの立場から取組事例や思いをお話し頂きます。良い例会となるよう委員会メンバーと知恵を絞っております。ぜひご参加頂きますようお願い致します。

委員長副委員長交流会

平成28年9月3日(土)倉吉体育文化会館中研修室にて、鳥取県中小企業青年中央会委員長・副委員長交流会が開催された。第1部では、各自持ち時間2分の自己紹介を行った後、グループディスカッションを行った。議論を通じて他地区の委員長・副委員長の悩みを共有したり考え方を吸収することができたりと貴重な経験となった。第2部では、株式会社クリエイティブサポート代表取締役の伊田武志氏をお招きして「リーダーシップとチーム力」という演題で講演していただいた。伊田氏の半生を振り返りながらの講演に感動した参加者も多かった。各々が委員長・副委員長となって既に3か月余り。残り9か月弱、悔いの残らないよう全力で羽を伸ばしたい。



(記事・野口(浩))

★ 企業紹介 ★ ~翔け新入会員~

株式会社 八百屋トマト 足立鷹大



平成28年7月に入会致しました株式会社 八百屋トマト 代表取締役足立鷹大と申します。

当社は米子市米原に本社があり、境港水木しげるロードにも店舗を構え、青果、鮮魚の小売・卸業を2店舗で行っております。日常生活に欠かせない野菜はもちろん、御中元、お歳暮用の果物、さらには紅ズワイガニの全国発送なども

しております。

ご飲食店様への店舗配達も、米子・境港・松江・出雲・倉吉と幅広く行っております。

鳥取県西部中小企業青年中央会第42期スローガン「翔人」について竹ノ内会長が、「羽を広げて駆け巡る鷹のようなダイナミックで誰が見ても勇ましい姿」と説明されていました。それを聞いた時、私は自分の名前の「鷹」という1文字とスローガンの意味がかぶり、今期入会させて頂いたのは何かのご縁と感じております。

今はまだ、1人で飛ぶ事も歩く事もできない「鷹」です。これからの中央会生活においてO様、竹ノ内会長、松田直前会長、現役会員の皆様の中を見て、年数はかかりますがこの鳥取県から日本を元気に、そして皆様に恩返しができる「鷹」になれる様、精一杯努力をしていきます。今後ともよろしくお願致します。



株式会社 八百屋トマト URL

有限会社 山陰食材加工 細田雄治

私が勤めております有限会社 山陰食材加工の紹介をさせていただきます。

弊社はお客様に満足していただける高品質なカット野菜を、常に安定した供給と価格で提供しております。カット野菜導入によるお客様のメリットは、カット作業にかかる人件費・スペース・廃棄物処理費の削減、必要な時に必要な量のみを注文することによって食材のムダや廃棄物を無くせる事です。

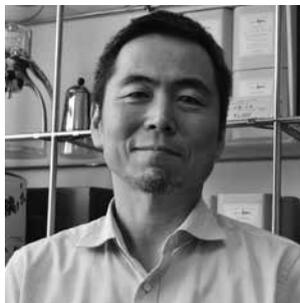
変わりゆく社会環境の中で求められるニーズも、多様化・個性化が進み、それを判断する目も厳しくなっています。こういう中で私たちが提供するものは「安心」です。「衛生管理の徹底による高い安全性の確保」、「安定した価格と質・量を提供する対応力」、そして「独自の高度な技術・システムによる柔軟性」この3つを満たし、お客様に満足していただけるサービスと高品質な商品はもちろん、食品産業のパートナーとして、また食材加工のスペシャリストとしての「安心」を提供します。



有限会社 山陰食材加工 URL

OB訪問 (有)喜多川

水 康德OB (第35期ご卒会) を訪ねて



9月某日、突然のOB訪問依頼の電話をかけた私たちを、とてもやさしい口調の水康德OBが「珈琲工房 喜多川」で迎えて下さいました。

中央会に入ったきっかけは、平成6年に仕事の関係で知り合った小原得雄OB(第23期会長)からの紹介だったそうです。異業種の様々な方と知り合うことができ、付き合いの範囲が広がったと話されました。また中小

企業ではなかなかできない大きな事業を経験することができたことがとてもよかったとおっしゃいました。

現役会員には「中央会の歴史と看板をうまく生かして今後も活動して欲しい。そして中央会に育ててもらった恩返しと思つて、とにかく頼まれた役は引き受けて欲しい。本業があるので忙しいとは思いますが、そこは調整してできるように努力して欲しい」と話されました。

最後になりますが大変お忙しい中、快くOB訪問を受けて下さった水康德OB、本当にありがとうございました。出して頂いた珈琲とてもおいしかったです(^ ^)

(記事:福島)

中央会 Q & A

水OBが会長になられた第34期に初めて設置された役職は?

~答えはホームページで!~

会員拡大プロジェクト

会員拡大プロジェクトリーダー 山内正樹 (有サンユービルド 専務取締役)



中央会では数年前より「人口減少」の問題に向き合い、様々な勉強や取り組みを行ってきました。企業数・労働人口の減少が徐々に現実となってきた昨今、それに伴い当会においても「会員数の減少」が避けて通れない問題となってきました。

そこで今期、竹ノ内会長の思いのもと「会員拡大プロジェクト」が立ち上げられました。このプロジェクトでは、ただやみくもに会員数を増やすということではなく、ひとりでも多くの「志」を持った人材を発掘していくことを目的として活動をしています。また、会員数の減少は今期だけの問題ではありません。来期以降も継続して取り組んでいける仕組み作りも同時に行っていきたいと思っています。

「中央会に入って仲間と出会えた」「新しい仕事のビジョンが芽生えた」「組織力を勉強できた」など、入会することで得られたことはOB会員・現役会員の皆様それぞれにあるのではないのでしょうか? そういった当会の魅力を共有していける新しい仲間を見つけ、5年後、10年後の中央会も魅力のある会にしていきたい! そのような思いのもと、プロジェクトメンバーと共にしっかりと活動していきたいと思ひます! 皆様もご協力の程、よろしくお願ひ致します!

後輩へ

宮田 昇

(日本海新聞 河崎専売所 所長)

中央会に入会して4年間が過ぎ、いよいよ卒会年度がやってきました。振り返ってみると、あらためて素晴らしい会に参加でき、尊敬する人達と出逢えたこと感謝しております。

私の仕事の業界では、経済団体に入会している方がほとんどおらず、無知な私でもやっていけるか入会前は不安だらけでした。実際にご迷惑をおかけすることが多々ありましたが、沢山の先輩方に助けていただきました。やさしく慰められることも、怒られることも、素晴らしい助言も沢山いただきました。先輩会員の皆様、大変感謝しております。本当にありがとうございました。

後輩へのメッセージです。「本業の仕事以外で学びの場があるということは、大変贅沢なことです。自分の身近な人には感謝の心を常にもちましよう。仕事・家庭・中央会どれも大切です。時に悩むこともあると思いますが、周りの先輩会員に色々相談してください。きっと素晴らしい助言がもらえると思います。伝統ある中央会の現役会員であることを誇りに思ってください。卒会年度ですが、私も後輩会員と一緒にたくさんの汗をかきたいと思っております。皆さんどうぞよろしくお願ひします。」



サッカー部設立

足立 駿

(足立ふとん店米子店 店長)

TSCサッカー部キャプテンの足立駿です。2018年FIFAワールド杯ロシア大会制覇に向けて機運が高まる中、9月の役員会にて「TSCサッカー部の設立」を承認いただきました!

石原功監督を筆頭に25名前後の会員(OB会員含む)で構成されており「楽しく・仲良く」をモットーに会員の交流をメインとして活動しています。真剣にボールを追う者、日頃の鈍った身体を動かして汗をかく者、ベンチから野次ばかり飛ばす者、サッカーシューズを持参せずニューバランスのスニーカーで参加する者等、個性豊かなメンバーで楽しんでいます!

今後は様々な大会へ積極的に参加し、優勝の喜びをメンバーで味わいたいと思ひます! 最終目標は日本代表! road to Russia!



翔人になるために ～ de Japón ～

第42期会長 竹ノ内賢一郎

第42期もスタートして早いもので4分の1が過ぎました。暑い夏が過ぎ、朝晩は冷える時期となりました。健康第一です。体調には十分気をつけて日々の仕事に取り組んで下さい。

さて、8月には濱田修副会長が㈱ホクシン代表取締役社長に、そして今月は中村友紀会員が㈱サンイントウエイ代表取締役に就任されました。おめでとうございます。会員が中央会での活動を通して成長され、所属企業のトップに就任されることは非常に喜ばしいことです。代表取締役は、株主、取引先、従業員やその家族に対して責任を負う大変な立場です。中央会で学んだことや人脈を活かして、リーダーとして会社、従業員を引っ張っていただきたいと思います。

広島東洋カーブが25年ぶりのリーグ優勝を果たしたことが世間を賑わせています。潤沢な資金を誇る巨人や阪神といった他チームに立ち向かう姿は、大企業との競争に挑む我々中小企業と重なるものがあります。優勝の要因は「ベテランと若手の融合」でしょう。経験豊かな黒田から、野村や中崎が技術や心構えを吸収して活躍する。いじられることも厭わない新井が良い雰囲気を作り、田中、菊池、丸、鈴木などの若手が伸び伸びとプレーする。素晴らしい戦いぶりでした。

中央会の会員には、中小企業の経営者、幹部が数多くいます。背中で若い従業員を引っ張り、力を発揮しやすい職場の雰囲気を作っていくことが、ライバルに勝つために大事なことだと思います。



勇気ある決断

副会長 浜田貴稔

人生において、様々な節目で決断を迫られることはありますが、中央会への入会に関しては、お誘いいただいた先輩にもしばらくの間お待ちいただき、やっとの思いで入会する決意をしました。

その頃、他の青年団体での活動に一区切りをつけ、仕事に邁進したいと思う反面、新たなステージでの出会いや学びによって成長することを欲している自分がいました。結果的には、やってみないと結論は出ないという思いから入会することにしました。

今では、自分の成長が企業や地域の発展に繋がることを信じて、やりがいを持って活動しています。

頭だけでなく、そこに身を置いてみることも時には大事だと思います。チャンスロスの無いように、まずは出来る理由から！

お誕生おめでとう



野口 圭祐ちゃん

(野口浩一副委員長 第4子)
平成28年9月14日生まれ

結婚10年の記念日に生まれてきてくれました。4人目です。兄2人と姉1人に鍛えてもらって強く優しい人になって欲しいですね。

私の こだわり

繁浪誠治 (㈱ペリー 営業部 部長)

ふと気づけば、私には「目玉焼きには必ず醤油だ」というような、こだわりらしいこだわりが思い当たらない。というのも物事を難しく考えたり、感じたりすることがどうやら自分は苦手なようだ。だから自我を出すような局面は極力避けて、結果を単純に急ぐクセがついている。

そう考えると、これこそが自分のこだわりかもしれない。スマートに終わること＆分かりやすい結果を得ること。とはいえ自分の人生の方は紆余曲折で波乱万丈なのだが。

10月役員会報告

平成28年10月役員会が平成28年10月3日(月)米子市公会堂 集会室5にて開催されました。

当日の主な内容は以下の通りです。

- ・9月例会開催報告の件
- ・10月例会開催の件
- ・11月例会開催の件

なお、詳細については各委員長までご参照ください。

10月例会案内

と き：平成28年10月17日(月) 18:45～20:45

と ころ：米子食品会館 大ホール

内 容：テーマ「米子市中心市街地再考」

～まちなかに賑わいを～

・取組事例紹介

・パネルディスカッション

経済産業省タウンプロデューサー・米子市議会議員：

杉谷 第士郎氏

クルマナオキ建築設計事務所 代表(米子建築塾)：

来間 直樹氏

キミトデザインスタジオ 代表(NPO法人まちなかこもんず参加)：

吉田 輝子氏

担 当：第42期 政治ビジネス委員会

所属企業変更等のお知らせ

本田 繁会員

所属企業変更

(変更前) 株式会社ホテルサンルート米子

(変更後) 東京印刷株式会社

鳥取県米子市両三柳929

電話 29-2311 FAX 48-0003

中村友紀会員

代表取締役就任

(旧) 株式会社サンイントウエイ 常務取締役

(新) 株式会社サンイントウエイ 代表取締役

石田倫章会員

所属企業名称変更

(旧) 株式会社エコプレゼンス

(新) ウィルビー株式会社

編集後記

先日、息子が通う中学校の運動会に行ってきました。クラス対抗リレーで半周以上の差をつけられ最下位だった息子のクラス。なんと最後の最後で大逆転！1位になりました。最後まで諦めない子供達の姿。我々大人も負けてられませんね！
(広報委員会 武田)